



きよさと

題字:鈴木 晴美(テイとくら・輝)

No.57
 2014.4.26発行
 社会福祉法人 清郷会
 協和厚生園 日吉厚生園
 九十九荘 十倉厚生園
 ティとくら・輝
 青空保育園
 ワークわく・きよさと
 TEL0476(93)1535代



写真:十倉厚生園にて

目次

特集『食欲の春』……………2～3
 九十九荘
 『季節の行事』……………4～5
 青空保育園
 『卒園式』……………6～7
 十倉厚生園/ティとくら・輝
 『活動&作業紹介』……………8～9

日吉厚生園
 『ひよし祭』……………10～11
 ワークわく・きよさと
 『忘年会で年忘れ! etc.』……………12～13
 協和厚生園
 『ゆ<年<る年』……………14～15
 ご寄付・御礼など……………16

千葉県共同募金会助成事業

協和厚生園・日吉厚生園に対し、三十三万円
 の配分を頂き、非常災害時のライフライン
 確保のためのインバーター搭載発電機を二台
 整備することができました。寄付者の皆様及び
 共同募金会様に謹んで感謝の意を表します。

ご寄付・御礼

- 日吉倉カラオケ同好会 様
- 日吉台小学校PTA 様
- 公益財団法人 諸岡報恩会 様
- 成田国際空港株式会社
クリスマスフェスティバル実行委員会 様
- イオン成田店
イオン八街店
幸せの黄色いレシートキャンペーン 様
- 株式会社カーブスジャパンフンドライフ 様
- 富里市手をつなぐ親の会 様
- 十倉厚生園家族会 様
- 秋山 慎一郎 様
- 井上 英子 様
- 小倉 愷 様
- 諸岡 久子 様



異動者

- ・江上 明子 (九十九荘↓協和)
- ・押野 修 (協和↓十倉)
- ・永堀 頌子 (協和↓十倉)

退職者

- ・田沼 貞美 (青空保育園)
- ・高橋 さくら (青空保育園)
- ・平野 裕美 (青空保育園)
- ・西沢 佳子 (青空保育園)
- ・吉田 整弘 (協和厚生園)
- ・櫻井 彩香 (日吉厚生園)
- ・奥原 健 (十倉厚生園)
- ・渡邊 俊子 (十倉厚生園)
- ・家崎 悠華 (十倉厚生園)

新規採用職員

- ・加藤 和磨 (協和厚生園)
- ・君和田 真理 (協和厚生園)
- ・桑原 恭太 (協和厚生園)
- ・溝上 美智子 (協和厚生園)
- ・茂呂 隆広 (協和厚生園)
- ・相澤 寛典 (日吉厚生園)
- ・錦織 淳 (十倉厚生園)
- ・板垣 智也 (十倉厚生園)
- ・坂本 明子 (十倉厚生園)
- ・實川 大輝 (十倉厚生園)
- ・林 恵梨沙 (十倉厚生園)
- ・和田 千寿留 (十倉厚生園)
- ・篠塚 永 (青空保育園)
- ・福田 昌代 (青空保育園)

お祝い



田沼 貞美

清郷会に十四年間お世話になりました。
 協和厚生園の十一年間は、素晴らしい職員集団と、
 「利用者さん主体」を実践することができました。
 利用者さんが生きる環境(家族、地域、施設、職
 員)を整備するため、職員のみならず幅広い動きをして
 くれました。保護者のみなさんの表情はもつと良くな
 っていました。保護者のみなさんを支えられ、職員
 は自らも成長することができました。

青空保育園の三年間は、決して忘れられない出来
 事です。東日本大震災の三週間後のスタートからな
 りました。沢山の皆様から支えられ、多くの障
 害を乗り越えオープン致しました。二年目には、定
 員百二十名を超える子ども達が利用する保育園に
 なりました。ほとんど新人の職員集団ですが、大
 地震の直後から、開園に向かって力を合わせて頑
 張っていました。開園式には、落ち着いた職員
 の皆さんがいました。七十三名の子ども達を迎
 えた職員もみな初めての出会いでしたが、いつ
 も、どんな時も、「笑顔」と「挨拶」を絶やさず頑
 張って来ていました。三橋常務に感謝すると共に、
 清郷会の発展をお祈り致します。

新園長お祝い



越野 記代子

青空保育園の開所当初、生後二か月のお子
 様をお預かりして早三年、その子は今、もう自
 分の力で歩き、おしゃべりも上手になりました。
 日々子どもの成長をそばで感じていると、自
 分もエネルギーを貰っています。

また、地域に根ざしひとりひとりを尊重しな
 がら、信頼できる保育園にしたいと思いま
 す。今後共にご指導宜しくお願い致します。



ひなまつり献立

- 食材**
- ・アスパラガス
 - ・たけのこ
 - ・菜の花・新玉ねぎ
 - ・いちご等々



春だから食べたい菜の花や筍などを献立に取り入れ、旬の食材のおいしさを入居者の皆様にたっぷり味わっていただくためのメニューにしました。見た目も華やかに仕上げるよう、彩りにも気をつけました。

今回は手作りの桃まんじゅうに挑戦し、栄養士の関口さんと調理の秋山さんで全員分を作り上げました。

障下困難な方のソフト食も力を入れ、厨務職員一同前向きに取り組んでいます。

行事食のときは、厨務職員総出で行います。

九十九荘

栄養士 塚田さん

たもつさんの鍋 (行事食・鍋の日)



- 食材**
- ・鮭・豚肉・豆腐
 - ・きのこ・人参
 - ・白菜
 - ・焼きおにぎり
 - ・きゅうり
 - ・牛乳寒天 等々

春の食材を使ったメニューとの事でしたが、毎月利用者さんのリクエストに応える「行事食」があり、協和厚生園ならではの1〜3月の「行事食」の鍋料理！こちらを紹介したいと思います。

今回は給食委員の角山 保さんのリクエストで、豚骨味のスープの中に鮭・豚肉・豆腐・きのこや白菜などの野菜が入っています。卓上コンロで雰囲気たっぷりにアツアツを味わう事が出来ます。

春がもうすぐそこまで来ていますが、まだまだ寒い日が続いています。最後の鍋を啜って楽しみます。

入所と通所の2施設の給食を、一気に引き受けている菅野さん一臂さんに喜んで頂けるメニューを考案するのが一苦労との事です。

協和・日吉厚生園

菅野さん

食欲の春

各施設の栄養士・調理担当の方々に春の食材を使って素敵な献立を作って頂きました。各施設の様々な食事をお楽しみください。

春の節句 ひなまつり給食

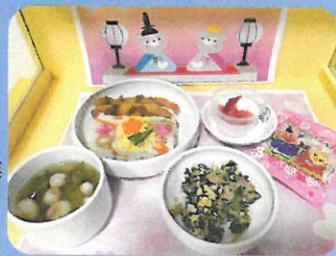
青空保育園

栄養士 橋本さん

保育園では、旬の食べ物や行事食を通して、四季の恵みを感じ、行事を祝う気持ちを身につけてもらえらることを大切にしています。

今回は春のメニューという事で、先日、保育園で行った「ひなまつり」の行事食を取り上げました。味はもちろんです。見た目も目から入る情報で食欲が左右されることも大きいと思います。見た目も華やかに、ひなまつりを感じてもらえらるよう飾り付けをしました。また、「えび」や「菜の花」を取り入れ、その食材を使用する意味や行事食の由来なども食事の時にクラスで話して取り入れるの心がけています。

- 食材**
- ・旬・れんこん・人参
 - ・干しいたけ
 - ・かんぴょう・錦糸卵
 - ・桜でんぶ・絹さや
 - ・バナメイエビ・小松菜
 - ・むき海老・卵
 - ・ベーコン・菜の花
 - ・手まり鮭・ねぎ



新じゃがと新玉を使った春カレーと、サラダ&スープ

アーク・おひなび

事務 河本さん

今回春のメニューという事で、大変悩みました。私たちの事業所での食事は「タイヘン」という所からメニューと食材をいたたき調理していく形をとっているのですが、土曜の稼働日等には職員が食材を揃え、調理していく為「オリジナルの素晴らしい料理を作るのはなかなか」と思い、他の職員の方から意見等を頂戴し考案しました。利用者さんひとりひとりの健康を願い、栄養バランスを整えられる食材にて調理しました。この食事を食べて午後もしんどく感じたり、そういった気持ちに利用者さんになつてくれたら嬉しいと思います。

- 食材**
- ・旬・ほうれん草・人参
 - ・新じゃが・茹たまねぎ
 - ・お肉・桜海老・キャベツ
 - ・セロリ・シメジ
 - ・モヤシ・人参



ひなまつり

十倉厚生園

栄養士 奥原さん

今回は春のメニューという事でひなまつりメニューを「紹介」します。

食材にはタケノコや菜の花等の旬の食材を使用し、尚且つ、女性と男性で盛り付け方を整えて「ひなまつり」を意識して頂けるように配慮しました。

十倉厚生園では日常から提供している食事には出来ただけ既製品を使用しない事も季節野菜や旬の食材を使用し、利用者の方々に食事を通して季節感を味わって頂く様に意識しています。

現在では、お昼の料理、お雑煮、厚揚げ、ひなまつりメニュー、柏餅、ちまみ、冬至のかぼちゃ、クリスマスメニュー等々、それぞれの季節メニューを揃えています。

- 食材** ・菜の花・玉子・えび・きぬさや・サーモン・タケノコ・いくら・人参等々



九十九荘も、皆様のご協力・ご援助の下、創立21年目を迎えることになりました。

働いている職員も勤続10年を超えたベテランも多く、今までの勤務を振り返った思い出を書いてもらいました。

入社1年目 内田佳奈



私にとってこの1年はとても早く、「学び」の1年でした。最初の頃は業務を覚えることでいっばいで、入居者の方と深く関わっていなかったのかなと思いました。

しかし、日々過ぎていく中で少しずつ関わりことができ、今では入居者の方と一緒に笑ったり、自分の中で意識が変わってきたと感じています。

日々変化していく中で止まってしまうこともありますが、いつも支えてくれて声をかけて下さる職員の方々、その中で私はこれからも学び、入居者の方とともに笑い成長していきたいと思ひます。

入社5年目 岡田 恵



私が九十九荘に勤め始めてから今日まで、何度も困ったり悩んだりしました。その度に利用者に励まされ、周りの職員に助けられ、少しずつ成長できたと思ひます。最近、改めて実感するようになったことがあります。それは、介助者が一方的に利用者を支えているのではなく、お互いが支えあっていることです。これまでの5年間は、私が利用者を支えなければと必死でしたが、これからはより良い介助法や知識を身に付け、共に支えあって、皆さんを笑顔に出来る職員になれるよう努力していきたいです。

入社10年目 津島康則



九十九荘に勤めて早10年、昨年度には干支が一回り下の新人が入社し、もうただの若造気分ではいられないのだと、改めて気を引き締めようと思ひているところです。

何かをやり遂げようと色々な壁にぶつかっていく過程で、そして日々利用者さんたちと接していく中で成長させてもらった10年でした。

これからも初心を忘れず丁寧な介護を心がけていきたいと思ひます。



2月は皆で豆まき。鬼に向かって投げろー



これからも毎月の行事を楽しみにして下さい

特別養護老人ホーム

九十九荘

九十九荘では、利用者の皆さんが快適に過ごせるように、暑さ寒さなど、体調を崩さぬように心がけています。そんな環境の中で、季節の移り変わりを感じていただくために、年中行事は大切にしています。

利用者の皆さんの、楽しそうな笑顔をご覧ください。



何と1人で!!

施設長といっしょ♪

真剣な顔の102歳



久しぶりのお餅にみんなにっこり。おかわりちょうだい!

インフルエンザが丁度流行する中、今年からボランティアさんに頼らず、九十九荘の職員のみで毎年の餅つき会を開きました。今まで地域の人たちに支えられていた分、不安が多くありました。床にビニールシートを引く所から手伝っていたので...。しかし始まってみると、皆利用者を楽しませようと場を盛り上げてくれたり、餅つきをやりたそうなる方を見つけると、誘導してくれたりしました。中でも、笑顔でじーっと見ているだけの方がいました。何度か誘いましたが、「私はいいいよ、もう年だし、できないよ。」と断り続けていましたが、「もうやりたい人は皆やっつたし、今年の記念にね。」と誘うと、「じやあやつてみようかな。」と応じてくれました。職員の介助はありましたが、餅つきが終わったら満面の笑顔を見せてくれた所が印象深かったです。これからも利用者一人ひとりの関わり合いを大切にしつつ、各季節を過ごしていきたいと思ひます。

担当職員 宮澤





無事に卒園式を終える事ができました。入園したばかりの頃は自分のことだけで精一杯だった子どもたちが小さな体で毎日いろいろなことにつかかっていきました。それによって友達を思いやる心や自分の気持ちを言葉にすること、失敗しても諦めない心が育ってくれたと思います。

私自身も子どもたちにたくさんのお話を学ばせて頂きました。子どもたちと過ごした日々が毎日楽しく、幸せいっぱいだったので、卒園という旅立ちの日がさみしい気持ちでいっぱいですが、子どもたちは、小学生になっても頑張る力が十分に育ってくれたと思っています。3年間沢山の思い出をありがとうございます!! 今は子どもたちに感謝の気持ちでいっぱいです。

『卒園児を担任して』

秋葉祐里

今月15日、無事卒園の日を迎えました。これからの道のりの中で、出逢う人を大事にし感謝の気持ちを忘れずに大きくなってほしいと願っています。同時に私も青空保育園を退職することになりました。一番思い入れのあるらいおん組と一緒に新たな出発が出来るのが、とても嬉しいです。この青空で大好きな仕事をさせて頂き、ありがとうございます。とても幸せでした。

3年前の4月、初めての集団生活を経験したみんなは、椅子に座ること・玩具を片付けること・先生の話を聞くこと・お友達を叩かない事・・・など、困っている事が沢山ありました。そんな子どもたちとゆり先生と一緒に私はひとつひとつ根気強く伝えていきました。

友達と仲良く遊ぶ術をまだ知らなかった子どもたちは、毎日ケンをし、泣いて、怒って仲直りをして・・・その中でゆっくり着実に子どもたちの心は成長していきました。

そして「ありがとう」の気持ちを言葉で伝えることの大切さに気付く人になってほしい。そんな願いをもって共に過ごした2年間。あつという間に時が経ち、素直に「ありがとう」を表現出来る子に近づけた気がします。

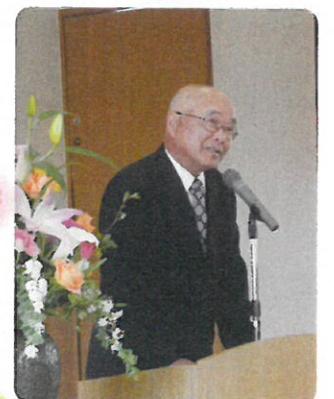
『子どもたちとの思い出』

高橋さくら

青空保育園卒園式!



今年は23名の卒園児が巣立っていきました。とても思い出に残る素敵な卒園式となりました。



トライ科

育晴班



育晴班では玉子と稚鶏の収穫を行っています。玉子は過年を過ぎて収穫ができ、稚鶏は10月から5月までの収穫時期となっています。玉子はヒヨコから鶏を育て、餌に拘り、平飼い育てているのでスーパーマーケットの玉子とは一味違い、栄養価も高いです。是非ご賞味ください。

菜園班



菜園班は杉材まで行き、杉の枯れ枝を焼却場まで運搬し、焼却するという作業を主として行っています。写真を見て分かる通り利用者個々の能力に合わせ、コンテナや一輪車等を使用している選別を行っています。

収穫物は現在「冬菜」を栽培しています。その他、季節に合った野菜（夏菜はオクラやミニトマト、茄子等）を主軸として栽培し、販売しました。

ライフ科

創作班



創作班では、手指機能訓練・歩行訓練を行っています。歩行訓練では体力維持を目標に、日々頑張っています。手指機能訓練ではリングスティックや紙千切り、ピース通し等に取り組んでいます。

少しずつですが、ストラップやスリット等のピース製品も作っています。また、他にも缶バッジ・キーホルダー・マグネットの販売も行っています。のんびりとした班ですが、日々楽しく活動しています。



工芸班



工芸班では販売会に向けた製品作りを日々頑張っています。季節ごとに新作を出せるように、利用者さんと職員で工夫をしながら魅力的な製品が作れるように努力しています。今年一年間で一番力を入れた作品は、リメイクティッシュボックスです。座布団や着物の生地をリメイクして和柄のティッシュボックスを作りました。どの販売会でも好評で工芸班の売れ行き商品でした。今後もヒット商品を出せるように日々利用者さんと共に頑張りたいと思います。

★平成26年度は、新たに「実習班」と「園芸班」も加わり、計8班と、テイとくら・輝にて活動していきます。

十倉厚生園 テイとくら・輝 活動&作業紹介

テイとくら・輝



テイとくら・輝では、牛乳パックで「椅子」や「カードケース」を作ったり、新聞紙で「コサージュ」、松ぼっくりやドングリ等で季節に応じた「リース」を作ったりと、自分たちの身近にある物で製品作りを楽しんでいます。



園芸班



園芸班では季節にあった野菜を育て、収穫しています。今の時期は利用者、職員でスロウコリーを収穫しています。旬の野菜を是非ご賞味ください。園芸班は野菜作りをメインに行っていますが、観葉植物や花の栽培や土作り等の園芸作業も行っています。他にも園庭の整備や芝刈り等、多種多様な作業を行っている元気一杯16人の大所帯班です。



ワーク科

受工班



受工班では、雑誌の付録業者から毎月2,000個の受注品を依頼され、利用者さんへ提供しています。受注品が無い時には、工芸作業を提供しています。主にピーク時には、工芸作業を提供しています。主にピーク時には、工芸作業を提供しています。主にピーク時には、工芸作業を提供しています。主にピーク時には、工芸作業を提供しています。



ご家族の方には、当日の午前中にとん汁やから揚げを作っていたきました。好きなものばかりだったので、みんなとても嬉しそうに食べていました。模擬店の1番人気は、パンケーキでした。昼食のあとでお腹いっぱいのはずなのに、みんな残さずに食べていました。



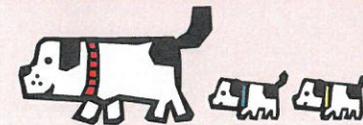
ひよ一祭

2月14日(金)ひよ一祭が行われました。ひよ一祭と聞いただけではどんな行事なのか想像がつかないと思いますが、高校などで行う文化祭をイメージしていただければわかりやすいと思います。ひまわり会の役員さんを中心に、当日の予定やご飯の内容を決めました。看板の準備等も作業の合間を使い、みんなで協力してひよ一祭を作りあげました。当日はおいにくの天気で、午前に予定をしていた徒歩までは行えませんが、室内レクを行い、午後にはみんなで準備をした模擬店を周りました。1日、利用者さんが楽しんでいる姿がたくさん見られました。少しづつですが、ご紹介していきたいと思ひます。



会場の清掃や看板作りを各班で分担して行いました。看板作りは、みんな楽しみながら好きな絵を描いたり、色塗りをしていました。

ひまわり会の会議では、みんなから上がった要望をもとにゲームの内容や模擬店を決めました。役員さんにはみんな真剣に意見を出し合っていました。



虐待防止法の研修を受けて・・・

生活支援員 大堀 穂菜美

2月14日に虐待防止・身体拘束に関する研修に参加させていただき、自分の行動や支援を改める良い機会になりました。

虐待のような出来事が起こらないようにするためにも、相手の立場になって考えること。自分の言い方や態度は相手に嫌な思いをさせてしまっていないか。自分の気持ちと置き換え相手を思いやることによって、適切な支援に繋がると感じました。

何が必要であり、正しい支援なのかを考え、一人ひとりが虐待に対しての理解を深めることは虐待防止にも繋がると感じます。利用者さんを第一に考えなければいけない立場の支援者として、虐待のような行為は絶対にあってはならないことであり、利用者さんの「安心・安全・尊厳」を守り、快適な日常生活を送っていただけるように、今後の支援に取り組んでいきたいと思ひます。また、相手を思いやる気持ちを持つということは支援の中だけでなく、良い職場環境づくりにも繋がると改めて感じました。良い職場環境が整っていれば、気持ちに余裕が生まれ、虐待という問題は減少していくものなのだと感じます。対人関係の私たちの仕事は人と人とのつながりや関係性が顕著に現れてしまうものだと感じます。私もいち職員として、人と人とのつながりや、関係性を大事にしていき日々の仕事を利用者さんと一緒に乗り越えられたらと感じました。

生活支援員 黒澤 建太

2月14日に虐待防止法の研修を受けました。昨今話題となっただけあって、講師の先生も熱が入っており聞き入ってしまいました。

そもそも虐待とはどうして起こってしまうのでしょうか。講師の先生の話を聞いていく中で、利用者さん一人ひとりのニーズを職員一人ひとりが明確にしていかないと起こってしまうのだと私は感じました。そして利用者さんのニーズを施設の理念に当てはめ、適切な支援の確立を図り、その適切な支援を他の職員と共有する事が大切であり、これを確実に行っていけば、どんな事態にも適切かつ迅速に対応でき、自然と虐待という行為を未然に防ぐことが出来ると思ひます。もちろん「障害」に対しての基礎的な知識を得ている事を前提とした話であるため、こういった研修などで学んだ内容は翌日や次の勤務の際には他の職員へと伝え、知識を拡散していく事も大切であると感じました。

福祉の世界に虐待はつきものだと世間の方々から思われてしまっても仕方がないと私は思いたくないです。私自身立派な職員であるとは到底言える者ではありませんが、日々積み重なる新しい知識をもつて自分自身の支援のスキル向上を図り常に「切磋琢磨していく」こんな意識の改革が自分自身を含め福祉の職についている方々に根強く育っていったらと感じました。

工賃支給日!!

毎月行われるワークわく・きよさとが一番賑やかな日・・・それが工賃支給日です!!

工賃支給を実際にどう行っているのかを、お知らせしたいと思います。

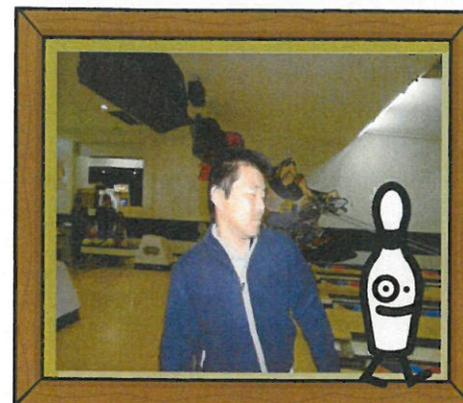
まずは終礼を通常より早め、14:35分頃に支度を終えた、皆さんの座っているところに工賃をもっていき、一人ずつ自分の工賃を職員から手渡され持っていきます。職員と共にお金を数えながら、日々の計算学習の成果を披露し、工賃支給表に表示された自分の工賃支給額を間違いないかを確認していきます。確認が終了したらそれぞれ工賃受領票に自分の名前を書いて終了です。あとはそれぞれ連絡帳へしまい、終了といった形です。工賃支給表・受領票共に名前と印鑑がありますので、載せる事ができないのが残念ですが、これが工賃支給日の様子です!!



ワークわく・きよさと 忘年会で年忘れ!

文 ◎ 黒澤 建太

昨年の年末に、年忘れとして忘年会を実施しました。ワークわく・きよさとでは2回目となるボーリング。みなさんそれぞれのチームで楽しみながら行う事が出来ていたように思ひます。笑顔がたくさんので、今年1年良い年になると思ひました!



ストライクが出たら、お決まりのハイタッチをして喜びました!

皆さん、日々の仕事の事は忘れて、楽しむことに専念!ガタ無しのコースであった為、ボーリングが下手な私も楽しめました。(笑)

ボーリング終了後には昼食へ!利用者さんはそれぞれ御自身の食べたい物を注文し大満足の様子でした!お会計は御自身で清算し、自分がいくら使用したのかを、実際に考えて頂きました。楽しかった忘年会ですが終了し、今年も利用者さん・職員共に頑張っていけたらと感じました。



平成25年度利用者忘年会

『みんなお疲れ様☆ サンタの忘年会』

in 訓練棟

協和厚生園

ゆく年

くる年



H25年度の締めくくりとして皆さん楽しみにしていた、忘年会&クリスマス会が、行われました。皆さん年々を重ね、体調の悪い時もありましたが、1年間無事に過ごせた事、職員一同、何よりホッとしております。

1年間作業に行事に頑張った皆さんに、
サンタさんからブ・レ・ゼ・ン・ト♡

来年も、元気に楽しく過ごせますように…



平成26年度家族会主催

『新年会』in ラディソンホテル

1月18日、ラディソンホテルにて協和・日吉家族会主催の新年会が行われました。

中華のコース料理を食べながら、楽しい一時を過ごしました。その中で、還暦を迎えられた青木利江さん・澤田文枝さんお二方のお祝いも行われました。

姉の還暦 お祝い
ありがとうございました

澤田 進一

協和厚生園に入所して、早いもので28年が経ち、姉も還暦を迎える事ができて、とても嬉しく思っています。入所当初の頃は、姉がおとなしい性格なので、父親がとても心配をして、何回か学園へ様子を覗きに行ったりもしていました。年を追うごとに姉も学園になれ、親も安心する様になりました。

父親は、姉が小さい頃から可愛がっていましたが、学園の行事にはほとんど出席していませんでした。父親も年々取っていき、2年前に他界しました。そしていつの間にか、その役目も私に代替わりしました。これからは親と同じ様に、頑張っていきたいと思っております。

最後に、学園関係者すべての方に感謝申し上げます。



ありがとう!



新年会では、
あんちゃん（お兄さん）とお姉さんと一緒に過ごせて楽しかったです。
又、皆でご飯を食べに行きたいです。
ハンバーグがいいな〜♡

